

6. 国家試験

- 薬学部 … 第 101 回国家試験より合格基準が見直され、総得点においては、絶対基準から相対基準へと変更となった。第 105 回国家試験の結果は、国公立大学を含む新卒者の合格率(全国平均)は 84.8%であった(第 104 回の合格率は 85.5%)。本学の新卒者は、90.5%と全国合格率を上回り、全国私立薬系大学 56 校中 16 位となっている。2015 年度第 6 学年より、国試対策の早期開始、補習講義増加等の対策を実施しているが、2018 年度より、学生個人が国家試験に向けての学修計画を立案し、実行していけるよう、4 月に学修ガイダンスを実施している。
- 歯学部 … 第 109 回(2015 年度)の結果を受け、2016 年度から国家試験対策の委員会を新たに編成し、予備校による講義や模擬試験の増加、試験会場での模試実施等の対策を実施した。この結果、第 113 回(2019 年度)の新卒合格率は 82.8%(前年度 82.4%)で全国私立歯科大学 17 校中6位と対策の成果が結びついた。卒業生に占める免許取得者の割合は 98.2%である。
- 看護福祉学部 … 看護師は新卒合格率 94.7%(全国平均 94.7%)、保健師は新卒合格率 92.9%(全国平均 96.3%)であり、保健師は全国平均を下回る結果となった。社会福祉士は新卒合格率 67.6%(全国平均 56.0%)であり、道内の福祉系大学等において 4 位となった。精神保健福祉士は新卒合格率 92.9%(全国平均 74.0%)であり、道内の保健福祉系大学等において 2 位となった。また、介護福祉士は 2017 年度から介護福祉士養成施設卒業生に対して国家試験義務付け(2026 年度までの卒業生は 5 年間の経過措置あり)となったが、前年度に引き続き新卒合格率 100.0%(全国平均 80.0%)であり、全国平均を上回る結果となった。
- 心理科学部 … 心理科学部卒業生で国家資格につながるのは言語聴覚療法学科(言語聴覚士)である。2019 年度は卒業生(新卒者)がいなかったため、対象受験者は 0 名である。
- リハビリテーション科学部 … 理学療法学科及び作業療法学科第 4 期生の国家試験の結果は、理学療法士国家試験が 100.0%(全国平均 86.4%)、作業療法士国家試験が 100.0%(全国平均 87.3%)で、全国平均を大幅に上回る高い合格率となった。また、言語聴覚士国家試験においては、本学部言語聴覚療法学科の第 2 期生が、全国平均を大幅に上回る 87.8%(全国平均 65.4%)の高い合格率を残した。

(1) 薬剤師国家試験状況

① 試験概要

・試験期 日年1回(2月下旬)2日間

・出題科目と問題数(2012 年/第 97 回～)

(問)

| 科目 | 必須問題 | 問題区分 | | | 出題数計 |
|----------|------|--------|--------------------|-----|------|
| | | 薬学理論問題 | 薬学実践問題 | 計 | |
| 物理・化学・生物 | 15 | 30 | 15* | 45 | 60 |
| 衛生 | 10 | 20 | 10* | 30 | 40 |
| 薬理 | 15 | 15 | 10* | 25 | 40 |
| 薬剤 | 15 | 15 | 10* | 25 | 40 |
| 病態・薬物治療 | 15 | 15 | 10* | 25 | 40 |
| 法規・制度・倫理 | 10 | 10 | 10* | 20 | 30 |
| 実務 | 10 | — | 20+65* | 85 | 95 |
| 合計 | 90 | 105 | 150 (複合問題 130*) | 255 | 345 |

・合格基準

《第 105 回薬剤師国家試験合格基準》

配点は 1 問 2 点(690 点満点)で、次のすべてを満たすことを合格基準とする

- ・問題の難易を補正して得た総得点について、平均点と標準偏差を用いた相対基準により設定した得点以上であること
- ・必須問題について、全問題への配点の 70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の 30%以上であること
- ・禁忌肢問題選択数は 2 問以下であること

② 本学卒業生の免許取得状況

| | | <6 年制課程> | | | | | | <4 年制課程> (既卒のみ) | |
|---------|----|----------------------------------|-----|------|------|-------|-------|-----------------------------------|-----|
| | | 受験者 | 合格者 | 合格率 | | 順位 | | 受験者 | 合格者 |
| | | | | 本学 | 全国 | 全国 | 私立 | | |
| 2019 年度 | 新卒 | 116 | 105 | 90.5 | 84.8 | 28/73 | 16/56 | 6 | 1 |
| | 既卒 | 70 | 41 | 58.6 | 42.7 | 10/73 | 6/56 | | |
| 2018 年度 | 新卒 | 138 | 125 | 90.6 | 85.5 | 33/73 | 18/56 | 6 | 0 |
| | 既卒 | 73 | 36 | 49.3 | 43.1 | 35/73 | 25/56 | | |
| 2017 年度 | 新卒 | 126 | 118 | 93.7 | 84.9 | 19/73 | 8/56 | 5 | 0 |
| | 既卒 | 94 | 56 | 59.6 | 47.0 | 24/73 | 19/56 | | |
| 総計 | | ・卒業生数 1,354 ・合格者数 1,294(95.6%) | | | | | | ・卒業生数 4,691 ・合格者数 4,580(97.6%) | |
| | | ・卒業生総数 6,045 ・合格者総数 5,874(97.2%) | | | | | | | |

(2) 歯科医師国家試験状況

① 試験概要 年1回（2020年は2月1日、2日に実施）2日間

【歯科医師国家試験の変遷】

第102回(2009年)からは、新たな形式として正解肢数が指定されない問題(スーパーX)が出題されることになった。

第103回(2010年)から、出題総数365問は変わらず「必修の基本的事項」が重視され、問題数が20問増加の70問になり、逆に一般問題数が減少した。

また、一般問題と臨床実地問題の評価方法が大幅に変更となり、歯科医学・保健医療における領域を基本として包括し、新たな出題基準で定める領域を基に、内容を近接した領域を統合して評価されることとなった。

第105回(2012年)から、従来の五肢択一式、択二式及び正解肢数を指定せずに選択させる形式に加え、計算問題や多選択肢形式(6以上の選択肢から1つの正解肢を選ぶ形式)が取り入れられることになった。

第110回(2017年)から、領域を構成するグループ別に必ず得点しなければならない最低点の運用を行わないこととなった。

第111回(2012年)から、X3タイプ、X4タイプ及び順序問題の導入、禁忌肢問題の廃止、一般問題180問、臨床実地問題100問、必修問題80問と総問題数が360問となった。

第113回(2020年)合格基準

- ① 領域A(総論) 65点以上/98点
- ② 領域B(各論Ⅰ～Ⅱ) 122点以上/167点
- ③ 領域C(各論Ⅲ～Ⅴ) 138点以上/210点
- ④ 必修問題 64点以上/79点 一部を採点から除外された受験者は必修問題の得点について総得点80%以上

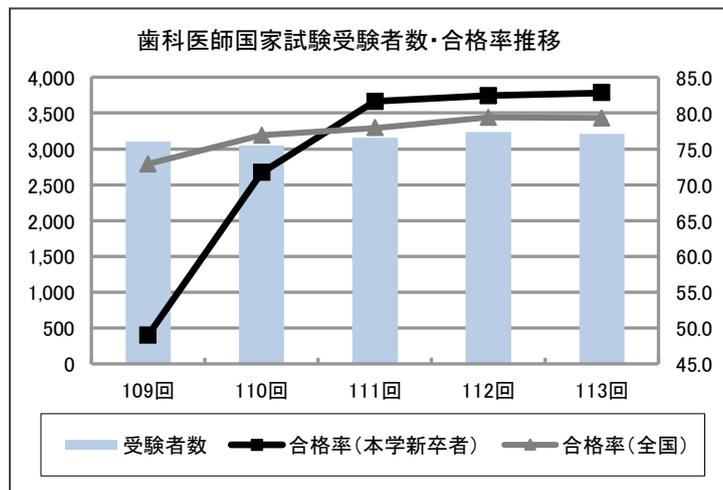
*一般問題(必修問題を含む)を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、①～④のすべてを満たした者を合格とする。

② 本学卒業生の免許取得状況

| 卒業年度 | 2019(第113回) | 総計 |
|--------|-------------|-------|
| 卒業生数 | 58 | 3,315 |
| 取得者数 | 48 | 3,256 |
| 取得率(%) | 82.8 | 98.2 |

③ 全国私立歯科大学の合格率状況(新卒:第113回)

| 大学名 | 合格率 | 順位 | 前回 |
|----------|------|----|----|
| 岩手医科大学 | 97.1 | 1 | 4 |
| 東京歯科大学 | 96.3 | 2 | 1 |
| 朝日大学 | 95.9 | 3 | 13 |
| 松本歯科大学 | 89.4 | 4 | 11 |
| 大阪歯科大学 | 85.3 | 5 | 7 |
| 北海道医療大学 | 82.8 | 6 | 6 |
| 昭和大学 | 82.6 | 7 | 4 |
| 明海大学 | 80.5 | 8 | 8 |
| 日本大学松戸 | 80.5 | 8 | 9 |
| 日本歯科大学 | 75.2 | 10 | 12 |
| 日本歯科大学新潟 | 73.2 | 11 | 2 |
| 日本大学 | 71.7 | 12 | 15 |
| 神奈川歯科大学 | 69.6 | 13 | 3 |
| 鶴見大学 | 64.8 | 14 | 14 |
| 愛知学院大学 | 63.1 | 15 | 10 |
| 奥羽大学 | 55.3 | 16 | 16 |
| 福岡歯科大学 | 50 | 17 | 17 |
| 私大平均 | 76.7 | | |



| | 109回 | 110回 | 111回 | 112回 | 113回 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 受験者数 | 3,103 | 3,049 | 3,159 | 3,232 | 3,211 |
| 合格率(本学新卒者) | 49.0 | 71.7 | 81.6 | 82.4 | 82.8 |
| 合格率(全国) | 72.9 | 76.9 | 77.9 | 79.4 | 79.3 |

(3) 看護師国家試験状況

① 試験概要

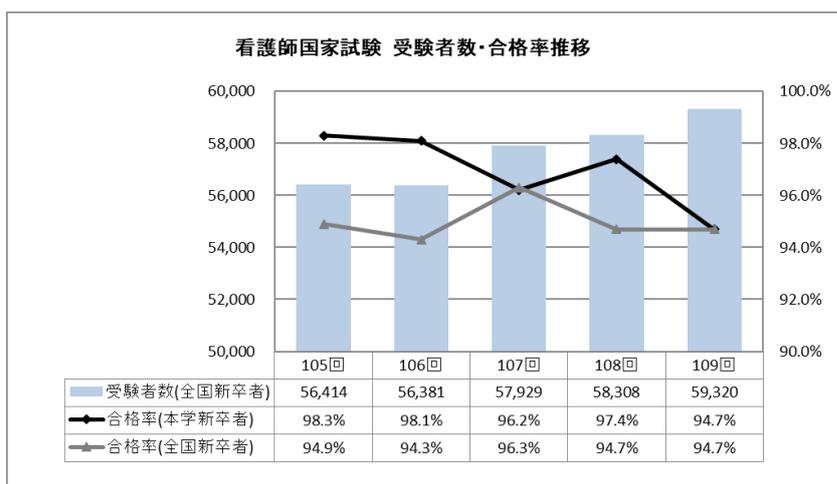
【試験期日】年1回(2月中旬)1日間

【出題科目・問題数・合格基準】

| 出題科目 | 問題数 | 第109回合格基準 |
|--|--|--|
| 人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護論及び看護の統合と実践 | 必修問題(50問) 一般問題(130問) 状況設定問題(60問) 合計240問 | 必修問題及び一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、次の(1)~(2)の全てを満たす者を合格とする。 (1) 必修問題 40点以上/ 50点 (2) 一般問題、状況設定問題 155点以上/250点 |

② 本学合格状況(新卒)

| 卒業年度 | 2019年 (第109回) |
|-----------|------------------|
| 受験者数 | 113 |
| 合格者数 | 107 |
| 合格率(%) | 94.7 |
| 新卒全国平均(%) | 94.7 |



(4) 保健師国家試験状況

① 試験概要

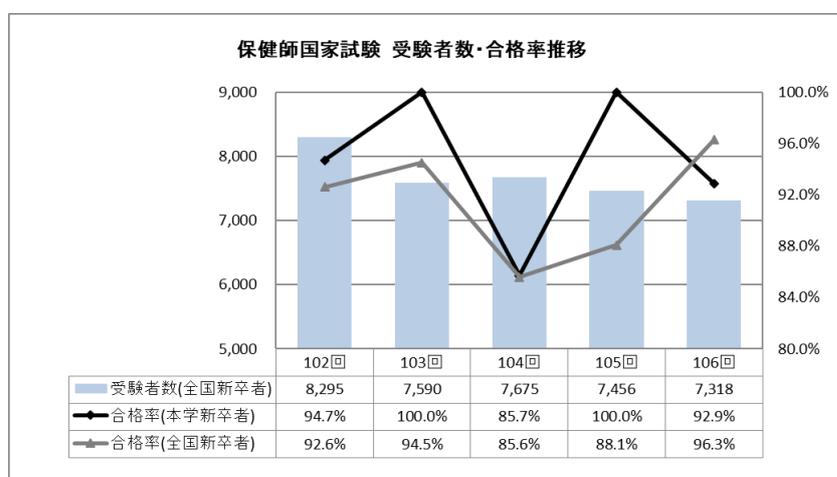
【試験期日】年1回(2月中旬)1日間

【出題科目と問題数】

| 出題科目 | 問題数 | 第106回合格基準 |
|-----------------------------|------------------------------------|--|
| 公衆衛生看護学、疫学、保健統計学及び保健医療福祉行政論 | 一般問題(74問) 状況設定問題(35問) 合計109問 | 一般問題を1問1点(74点満点)、状況設定問題を1問2点(70点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。 総得点 87点以上 / 144点 |

② 本学合格状況(新卒)

| 卒業年度 | 2019年 (第106回) |
|-----------|------------------|
| 受験者数 | 14 |
| 合格者数 | 13 |
| 合格率(%) | 92.9 |
| 新卒全国平均(%) | 96.3 |



(5) 社会福祉士国家試験状況

① 試験概要

【試験期日】年1回(2月上旬)1日間

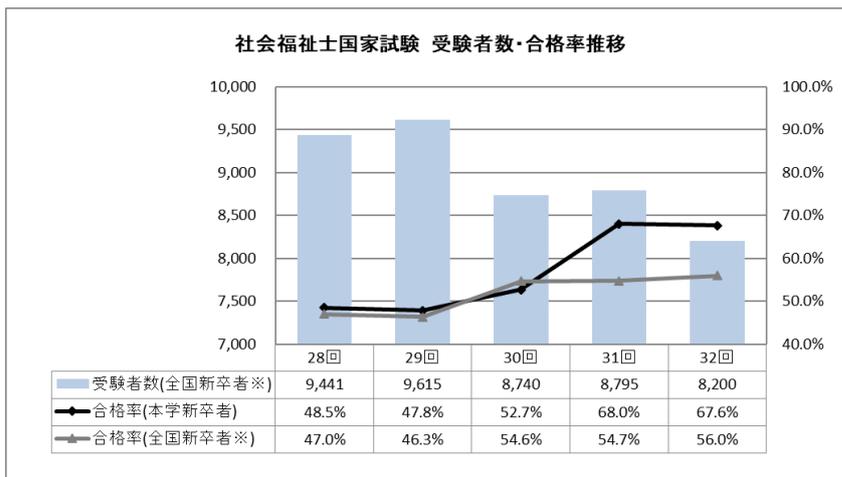
【出題科目と問題】

| | |
|------|---|
| 出題科目 | 合計150問 【共通科目】人体の構造と機能及び疾病(7問)心理学理論と心理的支援(7問)社会理論と社会システム(7問) 現代社会と福祉(10問)地域福祉の理論と方法(10問)福祉行財政と福祉計画(7問) 社会保障(7問)障害者に対する支援と障害者自立支援制度(7問) 低所得者に対する支援と生活保護制度(7問)保健医療サービス(7問)権利擁護と成年後見制度(7問) 【専門科目】社会調査の基礎(7問)相談援助の基盤と専門職(7問)相談援助の理論と方法(21問) 福祉サービスの組織と経営(7問)高齢者に対する支援と介護保険制度(10問) 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度(7問)就労支援サービス(4問)更生保護制度(4問) |
| 合格基準 | 【第32回社会福祉士国家試験】 総得点150点(配点1問1点)に対し、得点88点以上の者のうち、18科目群すべてにおいて得点があった者。 |

② 試験結果(新卒)

| 卒業年度 | 2019年 (第32回) |
|-----------|-----------------|
| 受験者数 | 34 |
| 合格者数 | 23 |
| 合格率(%) | 67.6 |
| 新卒全国平均(%) | 56.0 |

※厚生労働省報道発表資料による



(6) 精神保健福祉士国家試験状況

① 試験概要

【試験期日】年1回(2月上旬)2日間(うち1日間は、社会福祉士国家試験との共通科目)

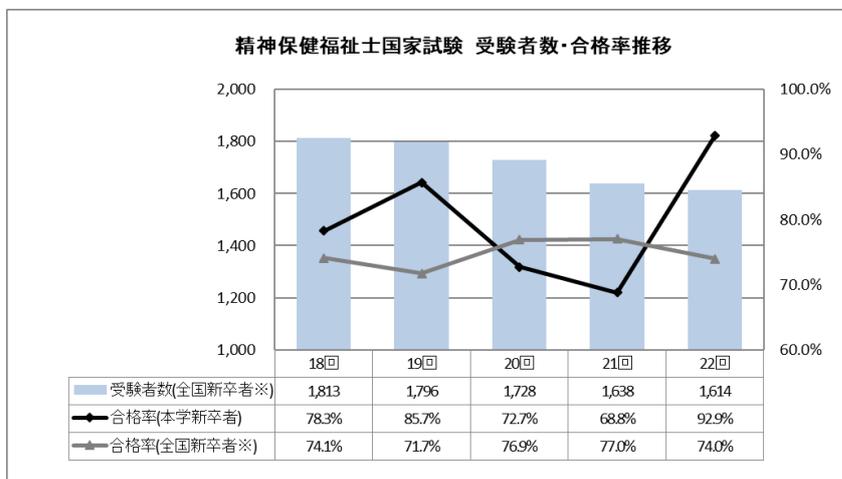
【出題科目と問題】

| | |
|------|---|
| 出題科目 | 合計163問 【共通科目】人体の構造と機能及び疾病(7問)心理学理論と心理的支援(7問)社会理論と社会システム(7問) 現代社会と福祉(10問)地域福祉の理論と方法(10問)福祉行財政と福祉計画(7問) 社会保障(7問)障害者に対する支援と障害者自立支援制度(7問) 低所得者に対する支援と生活保護制度(7問)保健医療サービス(7問)権利擁護と成年後見制度(7問) 【専門科目】精神疾患とその治療(10問)精神保健の課題と支援(10問)精神保健福祉相談援助の基盤(15問) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開(25問)精神保健福祉に関する制度とサービス(12問) 精神障害者の生活支援システム(8問) |
| 合格基準 | 【第22回精神保健福祉士国家試験】 総得点163点(配点1問1点)に対し、得点90点以上の者のうち、16科目群すべてにおいて得点があった者。 |

② 試験結果(新卒)

| 卒業年度 | 2019年 (第22回) |
|-----------|-----------------|
| 受験者数 | 14 |
| 合格者数 | 13 |
| 合格率(%) | 92.9 |
| 新卒全国平均(%) | 74.0 |

※厚生労働省報道発表資料による



(7) 介護福祉士国家試験状況

① 試験概要

【試験期日】年1回(1月下旬)

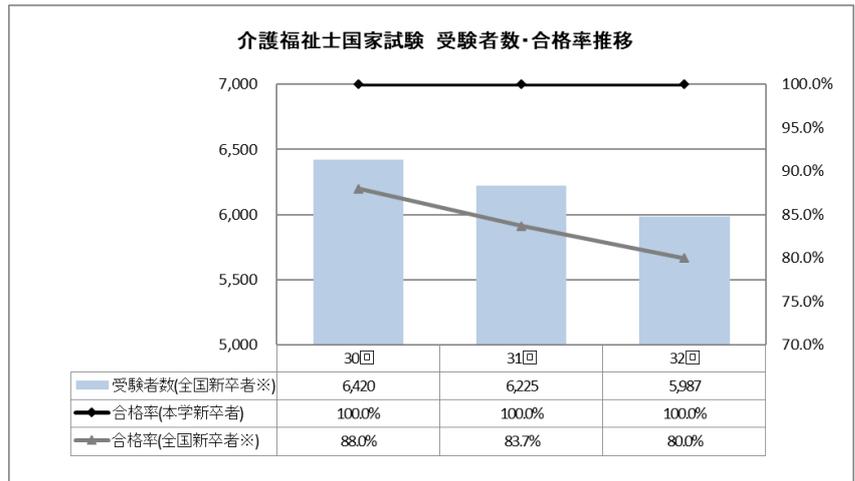
【出題科目と問題】

| | |
|------|--|
| 出題科目 | 合計125問 【領域:人間と社会】人間の尊厳と自立(2問)人間関係とコミュニケーション(2問)社会の理解(12問) 【領域:介護】介護の基本(10問)コミュニケーション技術(8問)生活支援技術(26問)介護過程(8問) 【領域:こころとからだのしくみ】発達と老化の理解(8問)認知症の理解(10問)障害の理解(10問) こころとからだのしくみ(12問) 【領域:医療的ケア】医療的ケア(5問) 【総合問題】総合問題(12問) |
| 合格基準 | 【第32回介護福祉士国家試験】 総得点125点(配点1問1点)に対し、得点77点以上の者のうち、11科目群すべてにおいて得点があった者。 |

② 試験結果(新卒)

| 卒業年度 | 2019年 (第32回) |
|-----------|-----------------|
| 受験者数 | 5 |
| 合格者数 | 5 |
| 合格率(%) | 100.0 |
| 新卒全国平均(%) | 80.0 |

※厚生労働省報道発表資料による



(8) 理学療法士国家試験状況

① 試験概要

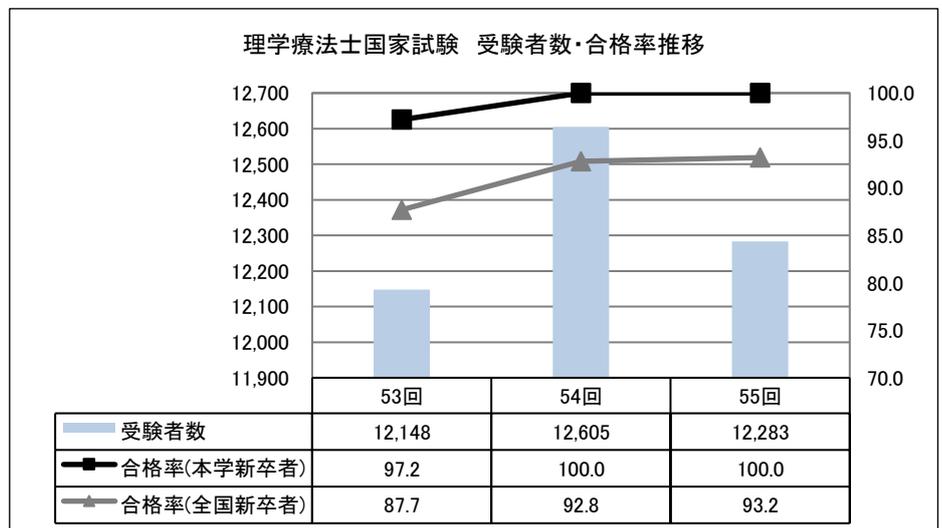
【試験期日】年1回(2月下旬)1日間

【出題科目と問題数】

| | |
|------|---|
| 出題科目 | 一般問題 解剖学、生理学、運動学、病理学概論、臨床心理学、リハビリテーション医学(リハビリテーション概論を含む。)、臨床医学大要(人間発達学を含む。)、及び理学療法 実地問題 運動学、臨床心理学、リハビリテーション医学、臨床医学大要(人間発達学を含む。)、及び理学療法 |
| 問題数 | 一般問題 1問1点(160点満点) 実地問題 1問3点(120点満点) ※合格基準: 総得点 168点以上 / 280点 実地問題 43点以上 / 120点 |

② 本学取得状況(新卒)

| 卒業年度 | 2019年 (第55回) |
|---------|-----------------|
| 受験者数 | 84 |
| 合格者数 | 84 |
| 合格率(%) | 100.0 |
| 全国平均(%) | 86.4 |



(9) 作業療法士国家試験状況

① 試験概要

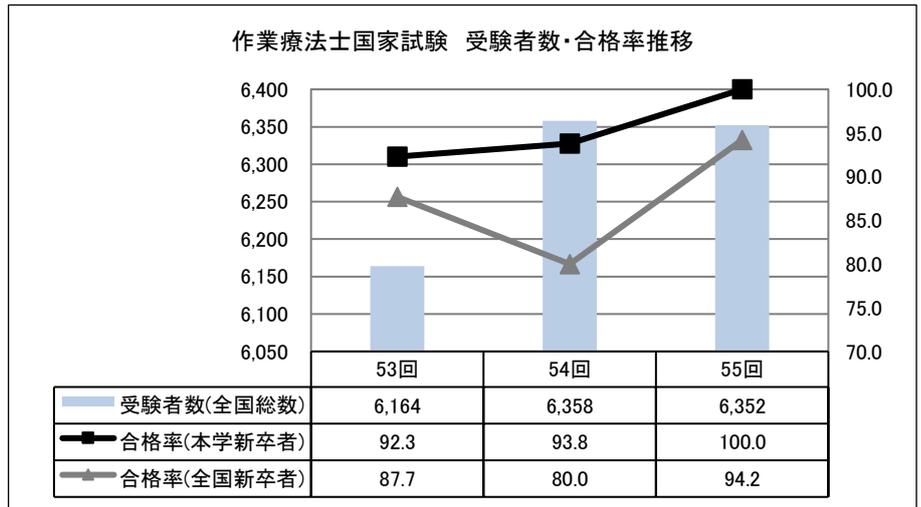
【試験期日】年1回(2月下旬)1日間

【出題科目と問題数】

| | |
|------|---|
| 出題科目 | 一般問題 解剖学、生理学、運動学、病理学概論、臨床心理学、リハビリテーション医学(リハビリテーション概論を含む。)、臨床医学大要(人間発達学を含む。)、及び作業療法 実地問題 運動学、臨床心理学、リハビリテーション医学、臨床医学大要(人間発達学を含む。)、及び作業療法 |
| 問題数 | 一般問題 1問1点(160点満点) 実地問題 1問3点(120点満点) ※合格基準: 総得点 168点以上 / 280点 実地問題 43点以上 / 120点 |

② 本学取得状況(新卒)

| | |
|---------|-----------------|
| 卒業年度 | 2019年 (第55回) |
| 受験者数 | 30 |
| 合格者数 | 30 |
| 合格率(%) | 100.0 |
| 全国平均(%) | 87.3 |



(10) 言語聴覚士国家試験状況

① 試験概要

【試験期日】年1回(2月中旬)1日間

【出題科目と問題数】

| | |
|------|---|
| 出題科目 | 基礎医学、臨床医学、臨床歯科医学 音声・言語・聴覚医学、心理学、音声・言語学、社会福祉・教育、言語聴覚障害学総論、失語・高次脳機能障害学、言語発達障害学、発声発語・嚥下障害学及び聴覚障害学 |
| 問題数 | 200問 * 合格基準: 1問1点、200点満点中120点以上 |

② 本学取得状況(2019年度・新卒)

リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科 新卒

| | | | |
|---------|------------------|-------|------|
| 卒業年度 | 2019年度 (第22回) | | |
| 受験者数(人) | 一般新卒 | 48 | 49 |
| | 編入新卒 | 1 | |
| 合格者数(人) | 一般新卒 | 42 | 43 |
| | 編入新卒 | 1 | |
| 合格率(%) | 一般新卒 | 87.5 | 87.8 |
| | 編入新卒 | 100.0 | |
| 全国平均(%) | 65.4 | | |

